



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

【参加者用】

RRC (Retired Racehorse Cup) 馬場馬術競技実施要項 令和4年版

~~2022.03.09~~

2022.06.23

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

目的：引退競走馬のセカンドキャリアとして、乗馬・馬術競技は従来から最も活躍してきた場であり、その中の競技で上位入賞した引退競走馬を表彰等することにより、引退競走馬が更に多く活用され、国民に馴染みの深い競走馬の引退後の活躍を紹介することができる。それに伴い、乗馬・馬術の魅力を伝え、乗馬人口の増大を図り、更には引退競走馬の再調教技術の向上と馬に関わる人材を育成することを目的として「奨励金」等を交付する。

以上のことより、引退競走馬が乗馬・馬術への入り口としての活躍の場とセカンドキャリアの形成、人材育成のためのリトレーニング技術の向上のほか、乗馬・馬術ファンの拡大を図ることを目的とする。

『RRC』とは、Retired Racehorse Cup の略であり、引退競走馬杯と名付けた競技である。競走馬登録されていたサラブレッドが引退し、リトレーニング後に乗用馬として用途変更した際、以下の条件を満たしている場合に出場できる馬場馬術競技である。

2022年は、下記の4会場（各団体が主催する）で行われる競技会の期間中、馬場馬術2種目を開催する。

1. 出場馬の条件

公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルに血統登録（内国産、外国産を問わず）され、日本中央競馬会、地方競馬全国協会の競走馬として最終レースを平成31（2019）年1月1日以降の出走歴を持つ3歳以上の馬とする。また、未出走馬は年齢が3歳以上7歳以下とし、年齢は馬年齢（1月1日）を適応する。マイクロチップ等を用いた個体識別を行う。

競走馬として出走を終えた若いサラブレッドが出場するので、馬のウェルフェア（FEI馬のスポーツ憲章）に十分配慮すること。特に、最終出走からエントリーまでは、馬体のケアやリトレーニングのために適正な期間を設ける等の配慮をすること。

各大会とも1種目に1頭の馬が複数回出場することはできない。

また、同一競技会（会場）において2種目に同一人馬で出場することはできない。

なお、同年にRRC馬場馬術競技に優勝した同一人馬での出場は不可とする。ただし、種目（障害馬術・総合馬術競技）または騎乗者を変更しての出場は可とする。

2. 競技大会および競技種目

令和 4 年に開催される馬術競技大会の中で引退競走馬のみで構成される以下の馬場馬術競技とする。

各 4 大会の L1 課目を予選競技として各大会の上位 3 頭（順位繰り上げの場合あり）にファイナル競技の出場権を与え、最大 12 頭の決勝競技を行う。

競技は、日本馬術連盟（以下 J.E.F. という）競技会関連規程集（最新版）を準用する。

【予選（地域）競技】

以下の 2 種目とし、種目名は「RRC 馬場馬術競技 L1 課目」と「RRC 馬場馬術競技新馬馬場馬術課目」とし、新馬育成を目的とする競技のため、鞭の使用は任意とする。

なお、新馬馬場馬術課目は水勒のみ可とし、大勒の使用は不可とする。

また、審判員は 3 名とする。

① J.E.F.馬場馬術競技 L1 課目 2013（2022 年更新版）

各会場上位より 3 頭（順位繰り上げの場合あり）はファイナル競技に出場すること。

② 全国乗馬倶楽部振興協会（以下 NRCA という）制定

NRCA 新馬馬場馬術課目 2021（別添）

【ファイナル競技】

J.E.F.馬場馬術競技 L1 課目 2013（2022 年更新版）

3. 開催会場及び日程

事業推進委員会にて選定した以下の会場で実施する。

4. 出場者

① 以下の資格または同等の技量を有する者とし、安全には十分留意して、参加団体及び馬の所有者が推薦する者。

- ・本協会 乗馬指導者資格
- ・本協会 乗馬技能認定 2 級以上
（ただし、2 級は 2022 年 3 月末までに認定された者に限る）
- ・J.E.F. 騎乗者資格 B 級以上
- ・全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級
- ・全日本高等学校馬術連盟騎乗者資格 HB 級
- ・日本社会人団体馬術連盟騎乗者資格 A グレード
- ・日本乗馬少年団連盟 騎乗者資格中級以上

② 申し込みと同時に選手及び出場馬は、肖像権の使用に同意したとみなす。

5. 出場料

1 回 ¥10,000 各主催者に支払う。（馬匹登録料等は各主催者の実施要項に基づく）

※各大会共に参加者は、RRC 1 種目のみの出場ではなく当該大会の別種目に出場することを推奨する。

6. 奨励金等

合計得点率が 50.000%以上の人馬が対象となり、下記の奨励金を授与する。

【予選（地域）競技】

①J.E.F.馬場馬術競技 L1 課目 2013（2022 年更新版）

・1 種目 100 万円（優勝 50 万、2 位 20 万、3 位 15 万、4 位 10 万、5 位 5 万）

②NRCA 制定 NRCA 新馬馬場馬術課目 2021

・1 種目 50 万円（優勝 25 万、2 位 10 万、3 位 7.5 万、4 位 5 万、5 位 2.5 万）

【ファイナル競技】

J.E.F.馬場馬術競技 L1 課目 2013（2022 年更新版）

・総額 100 万円（優勝 50 万、2 位 20 万、3 位 15 万、4 位 10 万、5 位 5 万）

・ボーナス賞（合計得点率が 64.000%以上の人馬）3 万円

・予算の範囲内で輸送費補助を支出する

7. 表彰

両種目とも、1 位から 5 位までを入賞とし、大会主催者より各奨励金を交付する。

また、1 位から 3 位までにリボン（タスキ）を授与する。

なお、ファイナル競技には更に 64.000%以上を獲得した人馬に対してボーナス賞を贈る。

8. 申し込み等

別に定める「RRC（引退競走馬杯）出場申込用紙」と各主催者の実施要項に基づいて必要な書類を指定された期日までに大会主催者へ提出すること。

9. その他

① 競技会を撮影した動画、画像をホームページ等で放映する。

② 競技開始前までにマイクロチップ等を利用して馬の個体識別を行うので、必ずマイクロチップ番号（馬の健康手帳の表紙の裏に貼付）を申込時に記載すること。

③ 合計得点率が 50.000%に満たない人馬への奨励金は交付しない。

④ 奨励金とボーナス賞の交付は、各主催者から、該当馬の所有者に対して交付する。

⑤ 競技終了後に出場馬の要件を満たしていないこと等が判明した場合は、奨励金等を返納し、以下順位を繰り上げて表彰する。

⑥ この奨励金は、JRA 日本中央競馬会の競馬振興特別助成金により実施する。

⑦ 競技開催日の 5 日前に本協会のホームページ上で出場順を公表する。それ以降の人馬の変更は一切受け付けない（棄権のみ）。

RRC 競技 2022 実施予定

2022.06.23 現在

《馬場馬術競技》

No.	地域	会 場		競技会名	開催日
1	関東	茨城県	中島トニアシュタール	NTS 馬術大会秋	10月22日(土)
2	中部	静岡県	御殿場市馬術・スポーツセンター	RRC 中部 I 大会	新馬 5月20日(金) L1 5月21日(土)
3	関西	奈良県	乗馬クラブクレインオリンピックパーク	奈良県民体育大会	7月8日(金)
4	中国	岡山県	岡山乗馬倶楽部	岡山グランプリ ドレッシングユースショー	L1 11月26日(土) 新馬 11月27日(日) ↓ L1 10月1日(土) 新馬 10月2日(日)
5	ファイナル	東京都	JRA 東京競馬場	RRC 馬場馬術ファイナル	12月18日(日)

※上記日程および会場は、新型コロナウイルス感染症等の影響により変更する場合があります。